

# 令和5年度 初倉中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-4

実施方針		目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が安心して暮らし続けることができる環境を整備します。	民生委員と協力し、課題を抱える高齢者を早期発見、情報を共有し対応します。	①民生委員等情報交換会(年2回) ②課題を抱える高齢者宅への同行訪問(随時)
		多世代交流や関りを通じて支えあいの仕組みを構築します。	高齢者と地域の子どもたちが交流できる機会をつくる。	①初倉小放課後児童クラブと高齢者ふれあいサロンとの交流(年1回)
		地域住民がセルフマネジメントに取り組む機会を提供、支援します。	介護予防普及啓発講座を開催し、介護予防の意識を高める。	①介護予防普及啓発講座(年13回) ②講座経験のない活動団体での開催(年1回)
			地域活動を中止している団体の再開に向けた取り組みを支援します。	①しまトレや警察、生活安心課の出前講座を活用し地域活動の再開を支援します(随時)
			地域活動を継続支援します。	①しまトレ10ヶ所への参加(随時) ②ふれあい・居場所12ヶ所への参加(随時)
認知症施策の推進	認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域全体で支援します。	幅広い世代に認知症への理解を広め、どのような年齢でも認知症サポーターとなり得ることを伝えます。	①認知症サポーター養成講座の開催 初倉小・初倉南小・初倉中(年1回ずつ)	
		チームオレンジの定期活動を認知症カフェとして運営します。	①チームオレンジ連絡会(年6回) ②島田市認知症カフェマップへの掲載	
選択項目	多職種、他機関とのネットワーク構築	複雑化するケースに各専門機関と協力し課題解決に努めます。	地域の課題を収集・分析を行い課題を関係者間で共有し、地域課題の解決に向けて検討を行います。	①個別ケア会議の開催(随時) ②地域ケア会議の開催(随時)
			関係機関と連携をして消費者被害の早期発見ができるように周知啓発を行います。	地域活動内での講話(年2回)
	介護支援専門員に対する支援体制づくりと実践力向上支援	地域の介護支援専門員との協力体制を強固なものにします。	介護支援専門員と連携し効果的な支援を行えるように協働します。	①介護支援専門員連絡会の開催(年2回) ②介護支援専門員との同行訪問、対応(随時)
センターの認知度を高めるための周知活動	地域住民の方々にとって相談しやすい窓口として周知できることを目指します。	地域包括支援センターが身近な存在となれるようPRしていきます。	チラシを作成し公会堂(10ヶ所)・店舗(5ヶ所)に掲示、配布を行います。	